

令和 2 年 2 月 7 日

於 校長室

司会：教頭 書記：山下

1. 校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 協議項目（司会：会長）

（1）平成 31 年度学校評価（案）について（校長より）

【本年度の取り組みについての説明】（※12 月末時点までの自己評価）

I 確かな学力の育成と第一志望の進路実現

- ・図書館の活性化

貸出数 1175 冊（H30 1069 冊 9%↑） 入館者数 5332 人（H30 4139 人 29%↑）

II 豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成

- ・図書委員会（◎）

（全体の取り組み） ・POP 作成（大阪府立図書館 POP 広場に応募）

（学年単位の取組み） ・読書マラソン（1・2 年）

- ・海外生徒との交流 2 回（8 月香港、3 月ニュージーランド）（○）

国際交流委員会主催の第 1 回オーストラリア研修実施（3 月末）（○）

- ・創立 40 周年記念事業

生徒満足度 88%、保護者満足度 90%（◎）

III 生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

- ・香里会（初任＋常勤講師対象の O J T）20 回（週 1 回）、研究授業 12 回（◎）

アンケート肯定率 84%（△）

【質疑応答、意見等】

委員長：香里会の研究授業は上手くいっているようだが、（全教員対象の）互見授業の活用率が 70%（△）なのはなぜか。

学校長：初任と全教員とでは（人数の）枠が異なっており、なかなか難しい。

委員長：難しいとは思うが、忙しい教員も時間を作ってもっと積極的にできると良い。

委員：ICT の取り組みはどのようなことをされているのか。

学校長：プロジェクターが 8 台あるものの、使用頻度が年々上昇し現状では使いたくても使えない状況。また「教室にプロジェクターがあれば活用したいか」というアンケートに対して、これまで ICT 機器の使用頻度が少ない教員からも活用したいという声が多数あった。

委員：生徒の主体的活動としてどのようなことをされているのか。

学校長：学校保健委員会では、生徒がテーマを決めて調べてきたことをプレゼンしたりしている。

また今年から一年生の探究の授業を実施。関西大学の学生に探究の仕方をサポートしていた

だいている。またまとめの発表として体育館でポスターセッションを行う予定。

二年生では英語プレゼンコンテストを寝屋川市のアルカスホールで行い、保護者にも見学していただいた。表現する力の育成に一定の成果が出ていると感じている。

委員：人権教育はどのようなことをされているのか。

学校長：生徒に対しては人権 HR や外部講師を招き講演を行っている。また教員に対しては年に1回以上研修や保護者も対象とした人権講演を行っている。

委員：国際交流の取り組みはどのようなことをされているのか。

学校長：今年も8月に香港から高校生が来校、部活動体験（剣道部）や生徒同士の交流があった。また、連絡先を交換してやり取りを続ける生徒もいる様子。

委員：図書館で勉強する生徒もいるとのことだが、図書館内は喋っても大丈夫なのか。

学校長：エチケットをわきまえた上で喋っている。なお、静かに勉強したい生徒はブース形式の自習室で勉強している。

（2）令和2年度学校経営計画（案）について（校長より）

【中期的目標に関して】

I 確かな学力の育成と第一志望の進路実現

- ・「探究活動」をさらに活発にするため、調査研究を進める。 ⇒ 教員研修も行っていく。

II 生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

- ・地震、火災対応、AEDの使用について、教職員、生徒への新たな周知方法を検討する。
- ・防災について、地域との連携を図っていく。

III 校務の効率化と働き方改革の推進

- ・情報処理委員会を中心に校務処理システム等 ICT の活用をさらに推進し、公務の効率化を図る。
- ・ICTを活用して教材等の共有化や成績処理など、日常業務の軽減を図り、教材研究をする時間を確保する。
- ・「府立学校における働き方改革にかかる取り組みについて」に沿って業務の見直し、効率化を図る。
- ・学校保健委員会の活性化を図る。

【質疑応答、意見等】

委員：目標の小項目は多すぎたので、目標を絞って集中して取り組むのは良いと思う。

委員：就学支援の様子はどうか。

学校長：就学支援を要する生徒が年々増えている。また、スクールカウンセラーなども活用している。

(3) 進路実現に向けての各取り組みについて

- ① 1年探究、2年英語プレゼンコンテスト、3年アクティブスポーツコースの紹介（教頭より）
 - ・1年探求の授業では関西大学総合情報学部の学生8名と引率の教員が本校の生徒を指導している。
 - ・2年生英語プレゼンコンテストは関西を外国の人に紹介するというテーマで予選を勝ち抜いた16チームが寝屋川のアルカスホールで英語プレゼンを行った。
 - ・3年生アクティブスポーツコースの生徒はグループ（2～3名）で毎年スポーツの理論的な内容のプレゼンを行っている。

- ② 学校教育自己診断について（教頭より）
 - ・授業を集中して受けられていると感じている生徒（肯定回答87%）が近年2年間で5ポイント上昇。また、教員も同様に捉えており（肯定回答81%→84%）今後も継続すべく取り組んでいかなければいけない。
 - ・その一方で予習・復習等家庭学習への取り組みや主体的に勉強に励む実行力という点においては肯定回答率が著しく低い。
 - ・学校の生徒指導の方針に対し、例年肯定回答が低い、保護者においては一定の理解（肯定回答81%）をいただいている。

- ③ 38期生進路状況中間報告(令和元年12月27日まで)（進路指導部長より）
 - ・来年度の入試改革の影響で全体的に安全志向の出願となったと考えている。
四年生大学出願数は昨年度760名から今年度1070名に増加。（合格者数207名）
 - ・看護、医療系の専門学校出願が減っている。→ 看護、医療系も四年生大学を受験。

【質疑応答、意見等】

委員：各発表を単年度で終わらせず継続されているのはとても良い。

委員長：アクティブスポーツの発表なども外部の人に向けて発表をすると良い。協議会としてサポートできることがあれば行いたい。

委員：1人1人を伸ばす活動やICTを活用した授業をされているように感じた。

委員長：アンケート等各数値は分析の仕方を変えたらマイナスもプラスと捉えることもできる。
マイナスに囚われすぎないように。

4. 校長謝辞